



会場風景

続いて共催者を代表して、当協会の今村清理事長が、「今の広島に関するスポーツの話で言えば、私が知っているところではカープ女子というのがすごいというのが、最近の印象です。私どもとこちらの岐阜県・三重県さんとは何回かマッチングさせていただいていますが、広島県は初めてですが、うちの業界には広島ではJMSさんという巨大な医療機器の企業と手術手袋では三興化学工業(株)というのがありますね。ここが日本で40年前はほとんどその製造する手袋だったんです。そういう一流企業が広島にありました。

私たちはこの本郷で“メディカルヒルズ本郷”と

いうのを今、キャッチフレーズにしてこの本郷から世界に向けて医療機器を輸出して行こうと思っています。ここ数年、今回のような全国のものづくり企業の方々と一緒にやってみますと、われわれの今までの自社工場とはぜんぜん技術力や設備が違うものですから、ぜひそうした力をお借りして、一つでも二つでも新しい製品を出して世界に発信していきたいと思います。今日は1日頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします」と挨拶した。

その後、引き続き、後援の日本医工ものづくりコモンズの柏野聡彦理事が挨拶し、次いで展示・商談会に入った。

「ウェルネスバレーものづくり企業商談会 in 本郷」に 鈴木淳司経済産業省副大臣が来訪

大府市が主催し、ウェルネスバレー推進協議会、東浦町、大府商工会議所、東浦町商工会並びに当協会が共催する「ウェルネスバレーものづくり企業商談会 in 本郷」の開会式は、12月18日の午後1時から東京本郷の医科器械会館3階の特別会議室において開催され、来賓として鈴木淳司経済産業副大臣が臨席された。

開会式は、まず、大府市役所企画政策部の青木太久美参事が、「本来であれば市長と副市長が来るべ

きですが、ちょうど議会の開催と来年度の予算編成の山場を迎えていまして私が代わりに来させていただきました。今日は日本医療機器協会の皆様には私ども大府市の企業を快く迎えていただき、商談に臨んでいただいております。おかげさまで19社、33件の商談会ができることになり、大変感謝しています。

これをきっかけにぜひ一緒に新しい医療機器を開発するべく協力し合っただけいたらと思っていま